

いま、社会が君たちの力を必要としています！



法学部長

かない
金井

たかじ
貴嗣

リング」を迫られています。国際社会に目を転じてみると、さまざまな変化が生じています。テロ・紛争の頻発、地球温暖化による異常気象、食糧危機、天災等々。

今、日本の社会は、大きな変革期にあります。戦後形成された政治・経済等、さまざまな制度が「制度疲労」を起こして、改革が求められています。制度を担うと同時に、制度の見直しに携わる人材の養成についても改革が進められています。昨年4月に開校された法科大学院も、その一つです。市民の目線にたつて法律実務に携わる検察官や弁護士、国際化や情報化が進展する中で、国際取引に係わる紛争に対処できる弁護士、研究開発・技術革新にも詳しい裁判官や弁護士が、必要とされています。公務員等、他の職業についても、事情は同じです。少子高齢化に伴って社会保障制度や高等教育制度の見直しが進められています。しかし、年金問題ひとつとっても、解決策が明確になっていません。企業も国際化や技術革新の進展に対応できる「組織の再編成（リストラクチャ

日本の社会が、また国際社会がどのような仕組みになっていて、今、どのような方向に変わろうとしているか。君たちは、どのくらい、わかっていますか。

本を読み、人の意見を聞いて、自分の考えをまとめ、それをわかりやすく主張することができますか。外国語でコミュニケーションすることができますか。

おそらく、今、そのような知識や能力はないでしょう。なくてもいいのです。大切なことは、是非、大学で、そのような能力を身につけてほしいのです。

4年間は、「あつ！」という間に過ぎてしまいます。大学生活を有意義に過ごしたかどうか、その後の人生に大きく影響します。勉強することとは、社会を良くするためであると同時に、君たち自身のためです。